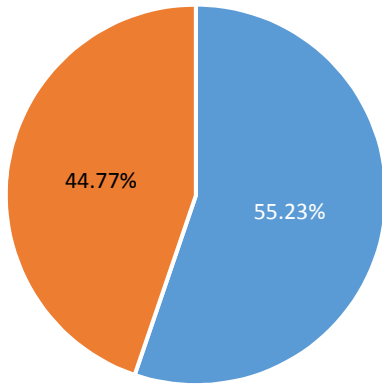


アンケートの結果について

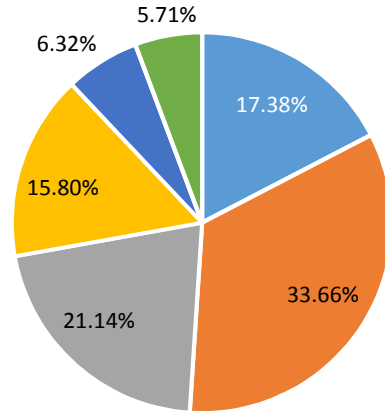
1. 基本属性 (1)

1-(1) 性別



■ 男性 ■ 女性

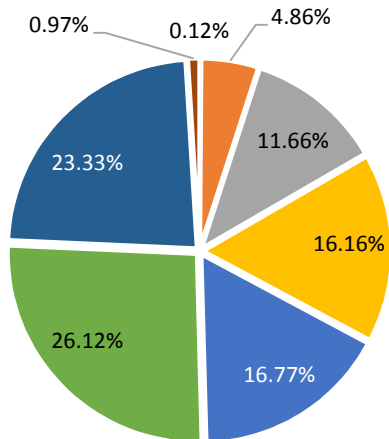
1-(3) 家族の人数



■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ それ以上

①-2人 ④-4人
②-3人 ⑤-5人
③-1人 ⑥-それ以上

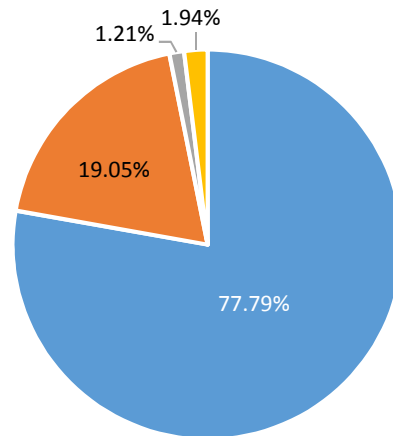
1-(2) 年齢層



■ 20歳未満 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代
■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳以上

①-60代 ⑤-30代
②-70代 ⑥-20代
③-50代 ⑦-80代
④-40代

1-(4) 住まいの形態

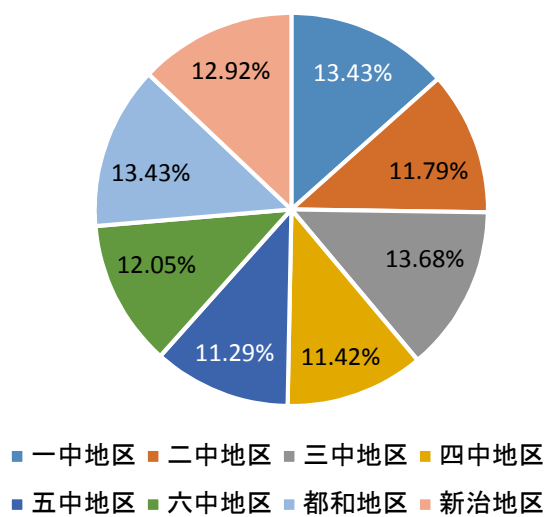


■ 戸建て住宅 ■ 共同住宅
■ 店舗兼住宅 ■ その他

①-戸建て
②-共同住宅
③-その他
④-店舗兼住宅

1. 基本属性 (2)

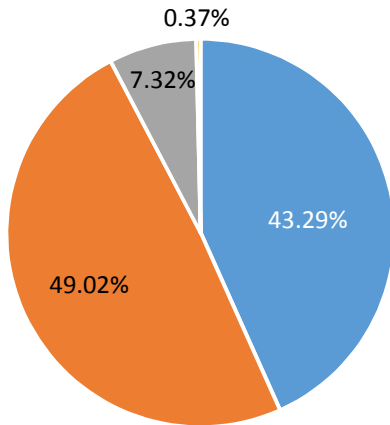
1-(5)地域



ほぼ均等

2. ごみ減量・リサイクルについての関心

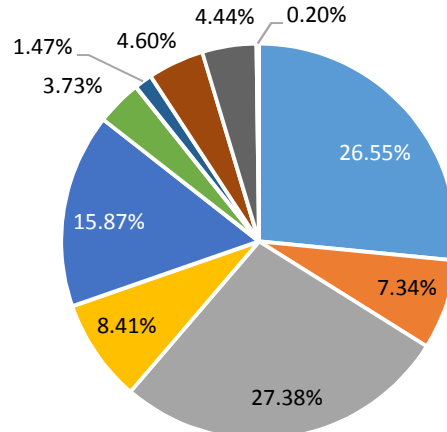
2-(1) 関心の有無



- 大いに興味がある
- 少し興味がある
- あまり興味がない
- まったく興味がない

- ①—少し興味がある }
 ②—大いに興味がある } 92.31%
 ③—あまり関心が無い }
 ④—全く関心が無い

2-(2) 実践していること



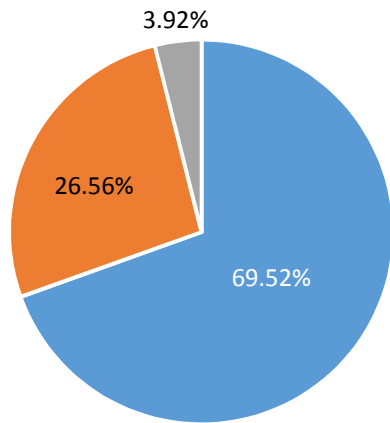
- ごみと資源の分別をきりんとしている
- 買い物の際、過剰包装を断っている
- マイバッグを持参して買い物をしている
- 食料は必要な量(重さ、個数)を買うようにしている
- 詰め替え品を買うようにしている
- 生ごみはコンポストなど処理機を利用し堆肥化している
- バザー、フリーマーケット、リサイクルショップを積極的に利用している
- トイレットペーパーやノートなど再生品を積極的に利用している
- 電気製品、おもちゃ、衣類品など修理して、出来るだけ長く使うようにしている
- その他

- ①—マイバック持参
 ②—分別の実践
 ③—詰め替え品購入
 ④—食品は必要量の購入
 ⑤—過剰包装の断り
 ⑥—再生品の積極利用
 ⑦—修理して使う
 ⑧—生ごみ堆肥化
 ⑨—バザー、フリマ、リサイクルショップ利用
 ⑩—その他

2. ごみ減量・リサイクルについての関心

分別収集について

2-(3) 生ごみ・容器包装プラ

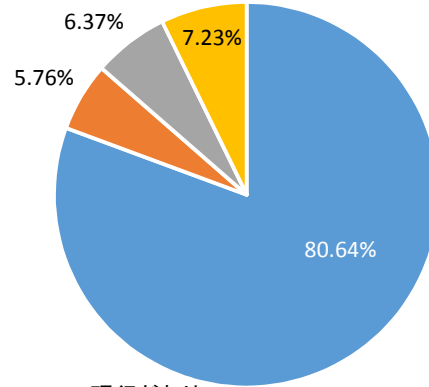


- 積極的に分別を行っている
- なるべく分別しようとしている
- 全く分別していない

①ー積極的分別 } 96.08%
 ②ーなるべく分別 }
 ③ー全くしない

収集回数についての意見

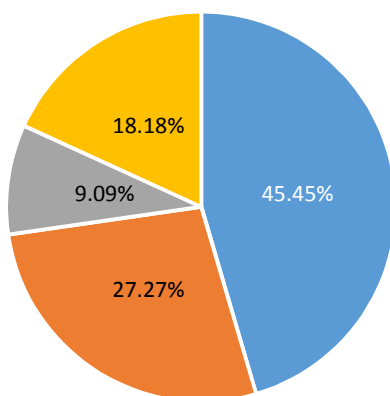
2-(4)-① 燃やせるごみ (燃やせるゴミ・生ごみ・容器包装プラ等)



- 現行どおり
- 可燃を減らす
- 可燃を減らし、容器プラを増やす
- すべて週1回

①ー現行(2回/週) ③ー可燃減、プラ増
 ②ー1回/週 ④ー可燃減
 ②～④: 19.36%

2-(3)-① 分別しない理由

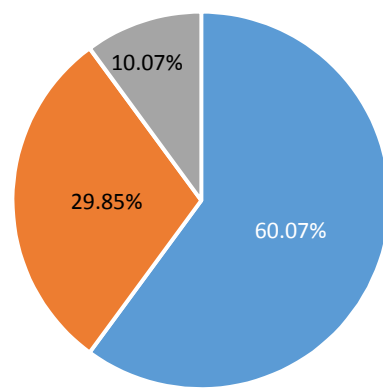


- 分別が面倒である
- 分別する理由が分からない
- 分別の仕方が判らない、難しい
- その他

①ー面倒
 ②ー理由が分からない
 ③ーその他
 ④ー仕方が分からない

収集回数についての意見

2-(4)-② 燃やせないごみ

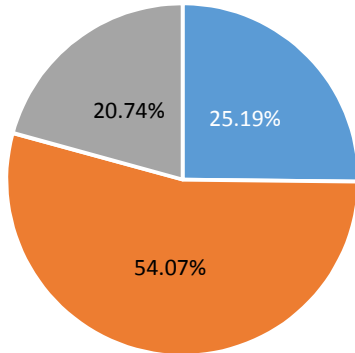


- 週1回
- 月2回
- 月1回

①ー1回/週
 ②ー2回/週
 ③ー1回/月

収集回数についての意見

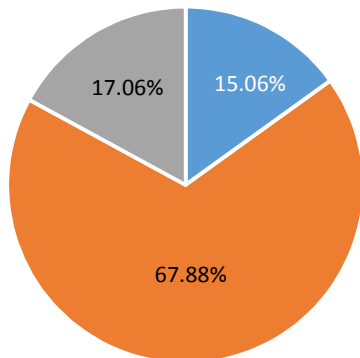
2-(4)-③ペットボトル



- 週1回
 - 月2回
 - 月2回の回収でもよいが、町内にいつでも出せるよう拠点回収場所を1箇所以上設置する
- ①-2回/月
 ②-1回/週
 ③-2回/月でも良いが拠点回収場所要望

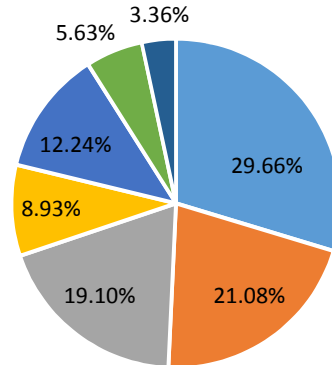
収集回数についての意見

2-(4)-④紙類



- 週1回
 - 月2回
 - 市の分別収集をやめ集団回収を行う
- ①-2回/月
 ②-集団回収
 ③-1回/週

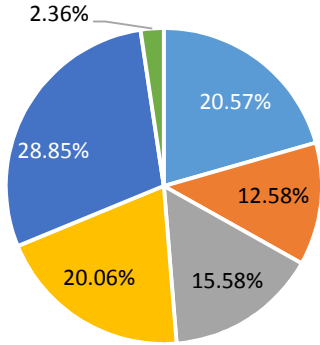
2-(5)市に必要な取り組み



- ごみの分け方、ごみの減量方法やリサイクルに関する情報提供をもっと行う
- リサイクル家電や自転車などの再利用(リユース)に力を入れる
- マイバック持参を働きかける
- 資源物の分別品目を増やす
- ごみ処理施設やリサイクル施設の見学会や学習の機会を増やす
- 特になし
- その他

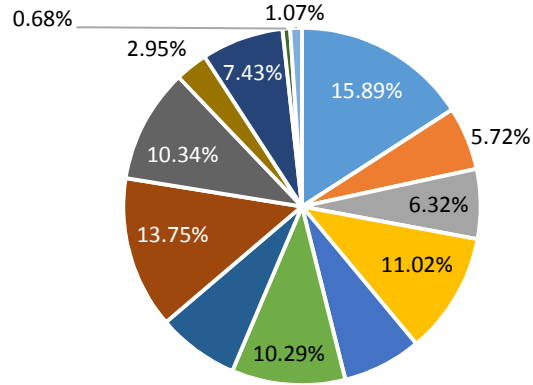
3. 家庭ごみのごみ処理有料化

3- (1) 有料化効果



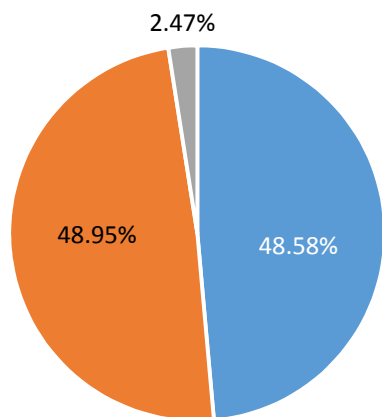
- 有料化されると、燃やせるごみと燃やせないごみを出すまいとする意識が働き、資源物の分別が徹底され、リサイクルが推進される
- 有料化されると、過剰包装を断るなど、ごみの発生抑制につながる
- 有料化されると、ごみ減量に努力する人と努力しない人で負担の差が設けられ、公平化が図られる
- 有料化後はごみ減量・リサイクルに効果が出ると思われるが、その効果が継続するような施策や工夫が必要である
- 有料化されると、不法投棄が増加する可能性がある
- その他

3- (2) 有料化実施の配慮点



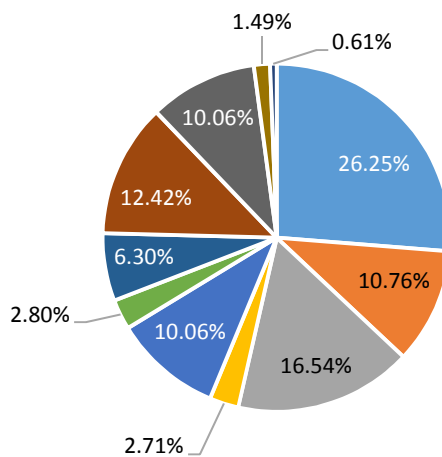
- ごみの分別や減量方法、リサイクルに関する情報を徹底的に提供する
- 資源物の収集頻度を増やす
- 資源物の集積場を増やす
- カン、ビン、ペットボトル、紙類などの資源物を直接持ち込める場所を設置する
- トレイや牛乳パック、ビン、カン、ペットボトルなどの店頭回収を増やす
- 不法投棄されないようにパトロールなどを強化する
- 子育てや介護による紙おむつ、生活保護世帯などを対象に負担を軽減する
- 有料化による効果や費用についてきちんと説明する
- 有料化による料金収入の使い道を明らかにする
- 指定有料袋を買いやすくするため、市内の多くの店舗で扱えるようにする
- ごみは過剰包装などによるものが多いので、製造者や生産者、小売店への指導を行う
- 特になし
- その他

3-(3) 有料化に伴う意識



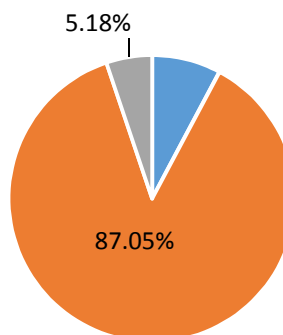
- 積極的に取り組むと思う
- 以前と取り組みは変わらないと思う

3-(3)-① 積極的取組方



- ごみと資源の分別を徹底する
- 買い物の際、過剰な包装を断るようになる
- マイバックを持参するようにする
- 再生品を優先して選ぶようになる
- 繰り返し使える商品を選ぶ(割り箸、紙コップは選ばない)
- 衣類、電気製品、おもちゃなど修理できるものは修理して使う
- 生ごみの自家処理(堆肥化)を行う
- 食材の買い過ぎ、食べ残しをしないようになる
- トレイ、カン、ペットボトルなど店頭回収を利用する

3-(3)-② 変わらない方



- ごみの減量化やリサイクルは手間がかかり、面倒なので、費用がかかってもかまわない
- すでに努力している為、今以上の取り組みは難しい
- その他